

箱根組ニュース

第371号 2024年 4月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

スカイツリーと同じ高さの岩殿山 稚児落とし経由の周回コースは自然のアスレチックだった！

3月17日の日曜日、京王線新宿駅7時9分発、特急高尾山口行き予定だったが、新宿に向かう途中で参加予定の奥村さんからラインが入る。

「京王線がトラブルで途中区間が止まっているらしい」とのこと。ネットで調べると確かにそのようだ。参加者全員に連絡が付き、各自大月駅に集合してもらうことにした。

予定より少し早い電車に乗った人、ぎりぎり間に合った人がいたが、予定の時間に全員大月駅に到着できた。一報をくれた奥村さんに感謝！

大月駅前に到着したのは、西川、川名夫人、佐藤、及川、奥村、戸丸の6名。駅前で身支度とストレッチをする。

9時15分出発。先頭は及川さん。駅前を左方向、東に進む。昔は右側に銭湯があつて、田村さんたちとお風呂に入ってから打ち上げを何度もやった懐かしい通りだ。道が左に折れると踏切だ。通過する電車とそれを待っていた車が行ってから歩きます。渡った左側はいつ

の間にか大きなホテルが立っていた。東急インだ。目の前には岩山の岩殿山がどっしりと鎮座している。

大月市民会館の信号を左に大通りを曲がると一級河川相模川（通称桂川）にかかる高月橋を渡る。川を覗くとかなりの高さがあり、深い色をしている。大通りは右にカーブして坂道を登って行く。

9時37分、左に岩殿山丸山公園入口、強瀬（こわぜ）登山口とある。山頂を目指す南側からの最短ルートだが数年前の台風被害で閉鎖されていてまだ通ることはできない。途中までは行けるようだ。

さらに大通り沿いの道を進む。中央高速が下を通っている。大月出口の分岐点が見えた。

9時55分、東側の登山口になるがこも台風被害で通行止めだ。

テレビで岩殿山の成り立ちをやっていたが丹沢山塊のプレートと関東山地のプレートに挟まれて海底が盛り上がり出て出来たとのことで、丸い小石と砂が



圧縮された礫岩で出来ているようだが意外に脆いのかもしれない。旧ルートの復旧が待たれる。

10時過ぎ、畑倉登山口に到着。この標高は379mで、山頂がスカイツリーと同じ634mなので差し引き落差255mを登ることになる。小休止。

北側からのアプローチで箱根組としては初めて通るルートだ。入り口の人数確認のカウンターがありこれを押して入ってゆく。落ち着いた自然林の山道だ。10時20分、左に「鬼の岩屋」と標識が出る。数分であらうので行ってみる。想像をはるかに超える大ききさでびっくりする。落盤の恐れありで立ち入り禁止とあるが、非常時にはかなりたくさんの人が入れそうだ。元に戻って山頂へのルートに。こんもりした草地は桜がいつぱいあって花見にはとても良さそうだ。気持ちのいい道を登って行く。

収支	
繰越	19765 円
打上残金	200 円
支出	
News/HP 作成費	500 円
当日プリント代	120 円
現在高	19345 円

だ。気持ちのいい道を登って行く。10時35分、岩を滑るような滑滝がある。こんな岩山から湧水がと思うと思議だ。だんだんと傾斜がきつくな

って行く。なかなかの手ごたえだ。

11時8分、山頂着。秀麗富嶽12景8番山頂岩殿山標高634mとある。その富士山は雪渓の筋のある下半分が見えていたが、残念ながら山頂は雲の中で見えない。

この山頂は最近整備されたらしく新しい標識とベンチが3台富士山に向かって設置されていた。昔は山頂らしい雰囲気はなくアンテナと「狼煙台」の表示だけだったと思う。広々と整備されていてなかなか気持ちいい。タテハチョウの仲間だろうかオレンジ色の蝶が暖かい地面で羽を広げていた。

11時25分、展望台方向に下ってゆく。眼下の大月方面がよく見える。その先には富士の右側に高川山と三ツ峠。下って広いエリアに着く。岩殿城の倉屋敷跡、馬場跡などの場所だ。大きな木々の先に東屋が見える。

4月21日(日) 日の出野鳥の森自然公園です。
らくだコース 歩行2時間20分

福生駅西口から西東京バスで尾崎バス停下車。帰りもバスで福生駅に戻ります。

野鳥の森自然公園で木の枝でバードコールを作り、鳥を呼んでみましょう。ボルト代一つ250円。

※何か汁物を作ります。

○持ち物 お弁当、飲料水、食器、箸、ポットにお湯、カップ、非常食、傘、雨具、着替え、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他

※申し込み締め切りは 4月19日(金)

集合 4月21日(日) JR 新宿駅
(12番線) 青梅特快 青梅行き
8:11発 (前から3両目車内)
東京:7:54 神田7:56 御茶ノ水7:59
四ツ谷8:03 中野8:16 三鷹825
立川8:39 拝島8:54

福生8:58着(西口バス乗り換え25分)
9:23発 日野で折り返し場 行き
尾崎バス停 9:37着

交通費 新宿～福生 片道659円
福生～尾崎バス停 片道310円

●お申し込み・お問い合わせ
Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸
戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi

一番よく見える場所だ。景色を堪能して、集合写真を撮って下ってゆく。

11時45分、番所跡。鉄製の矢印が左に向いているが先頭は右に曲がった、しかし岩の上で行き止まり。戻って左方向の大岩に両側から挟まれたような道を下る。以前の駅からの直登の道を下ることになる。九十九折れの階段はかなり傾斜があり慎重に下る。

11時50分、右、稚児落とし方向に



入ってゆく。まっすぐ駅に下る道は通行止めだ。気持ちのいい自然林の斜面に斜めについた登山道を進む。左に落ちないように要注意。

12時5分、築坂。鞍部で岩殿城の大手口の空堀だ。ロープの付いた岩を超え

る。
12時17分。右、林間コース。左、鎖場コースの分岐を左に行く。

12時20分、目の前に大きな岩が現れる、鎖場だ。直登の岩ではないが、結構な傾斜なので慎重に鎖を使って登る。登った先には鉄筋で出来たコの字型の梯子の階段(?)と、二本の鎖が付いているがほぼ直登でスリルがある。一人ずつ慎重に登って行く。

12時40分、兜岩。ここも二手に分かれていて、以前は左の岩のルートを進んでスリル満点の細い絶壁横の道を通ったが、残念ながら崩落の為通行禁止の看板があつて断念する。

右に林間コースを降りてゆくがこれがなかなかの難所で、ロープを伝わりながら一人ずつ慎重に下ってゆく。兜岩を右から回り込むようにして登って行くと尾根に出る。

13時頃、登りきった尾根の左側で昼食とする。ビールで乾杯、お湯を沸かして、狭いながら美味しいものを交換した

りして楽しい昼食だ。

3
昼食後、左側の兜岩に行ってみたが途中まで行ってみてルートもなくとても危険なので戻ってくる。

2時5分、出発。尾根道から振り返ると岩殿山の台形のような形と眼下の大月の町がよく見える。ミツマタの花らしき黄色い花がきれいだ。一登りすると次のピークだ。

2時25分、天神山。小さな祠がある。右に直角に下ってゆく。雑木林の尾根道は気持ちがいい。

2時40分、右、林間コース。左、岩場ルートとあり少し心配になるが、左はすぐに平らな岩の上に出て、稚児落としに到着。岩は左にカーブして鍵型のような大きな形になっている。大迫力の岩場だが、上を歩くだけなのでスリルはあるが安心だ。今まさに、礫岩の上を歩いているのだ。林のなかの階段状を登ると左に進む。稚児落としの一番高いところで腰を下ろして休憩。岩越しの岩殿山はまた格別の景色だ。

3時、下ってゆく。ここからがなかなかの下りの連続で慎重になる。

3時50分、浅利集落着。大通りを歩き、4時40分、大月駅着。解散。

4名は駅前の2階のお店で夕景を見ながら乾杯して、ゆっくり過ごす。

